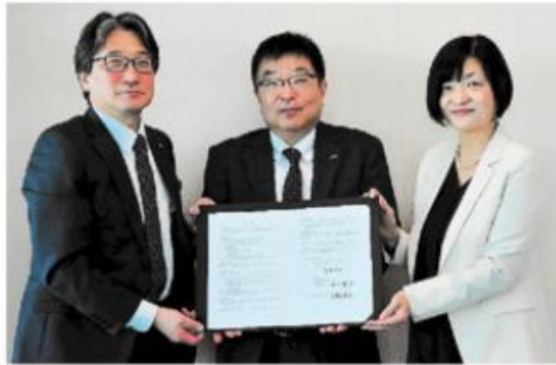


熊本市と立地協定を結んだHTSライズの宮原俊夫社長（中央）ら。29日、県庁



HTSライズ 新事業所開設

熊本市と協定

ソフトウェア開発のHTSライズ(福岡市)は29日、熊本市での新事業所開設に向けて、同市と立地協定を結んだ。現在、同市中央区

神水に設けている熊本事業所を、同区辛島町に移転し拡張する。

新事業所は、辛島町のビルの1フロア(約154平方メートル)を賃借。投資額は3550万円で、新たに10人を雇用する計画。5月から新事業所で業務を始める予定。

同社は金融や行政、製造など幅広い業種向けにシステム開発や保守を手がける。2014年に開設した熊本事業所では従業員10人で業務に当たっているが、顧客が増えているため体制を強化する。

県庁であった調印式で宮原俊夫社長は「企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)などを後押ししていきたい」と話した。

同社は1997年設立。グループ全体の従業員は約280人。(山本文子)